

山梨県高等学校バレーボール専門部
委員会（大会）申し合わせ事項

（昭和63年 1月14日制定）

（平成31年 4月19日改定）

事務局

〒403-0017

富士吉田市新西原1-23-1

山梨県立富士北稜高等学校 内

鈴木 健治 気付

TEL 0555-22-4161

FAX 0555-30-0173

E-mail suzukik@kai.ed.jp

大会参加上の諸注意

1 試合会場に関すること

- (1) 体育館の開館時間は原則として、午前8時00分とする。但し、縣市町村立の体育館を使用する場合はこの限りではない。
- (2) 上下履きの区別をしっかりとつけること。
- (3) 貴重品の管理等、盗難防止には各チームとも十分に注意すること。
- (4) 会場を汚さないように注意するとともに、使用した場所は必ず清掃し、ゴミ等はチームの責任において持ち帰ること。
- (5) 体育館の外での練習（特に平日）は、会場校に迷惑をかけないように十分注意すること。（特に声をだしての練習は禁止）
- (6) 会場校の設備、備品、用具等を勝手に使用しないこと。
- (7) 顧問、保護者等の車、選手のバイク、自転車等については決められた場所にきちんと駐車すること。
- (8) その他、会場主任からの注意をしっかりと守ること。

2 コート及び開会（始）式前の練習に関すること

- (1) コートは、高等学校体育館の場合、通常ステージ側をアルファベットの若い方とする。縣市町村立の体育館の場合は表示による。
- (2) 開会（始）式前にフロア内で練習できるのは、第1試合・第2試合のチームのみとする。
8：00～8：20 ネットを使用しないで練習する
※3チーム以上同時に練習する場合は、コートを独占した練習はしないこと
8：20～8：30 アタック練習（同一方向から）
8：30～8：35 サーブ練習
（会場により多少変更があるので注意すること）

3 開会（始）式、競技開始、顧問会議に関すること

- (1) 開会（始）式は通常8時40分から行う。
※選手及び顧問は8時30分までに会場に集合すること。連絡なしにこの時間に遅れた場合は棄権とみなす。
- (2) 第1試合の競技開始は9時15分とする。但し、縣市町村立の体育館の場合はこの限りではない。
- (3) 開会（始）式終了後ただちに顧問の打ち合せを行う。

4 競技上の諸注意

*チームに関すること

- (1) チームの編成について、監督・コーチ・マネージャーは1チーム各1名とする。
監督は当該校の校長の認める教職員とし、コーチは、当該校の教職員または、校長の認めた者とする。また、マネージャーは、当該校の教職員又は生徒でなければならない。選手は18名以内で申込みを行い、その中から試合毎に最大14名をエントリーする。エントリーが14名および13名の場合はリベロプレーヤー2名、12名以下の場合はリベロプレーヤー0～2名の競技者でチームを構成する。また、リベロプレーヤーはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれない。**申込み後の選手変更は原則として認めない。**監督が教員以外の場合は引率教員をつけなければならない。引率教員のベンチ入りについては、教員以外の者が監督の場合のみ、引率教員が、ベンチに入ることができる。なお、監督・コーチ・マネージャーは特殊な事情に限り変更ができる。
- (2) トスについては、全試合とも試合開始前11分前（選手権予選決勝は5セットマッチのため15分前）に公式記録席のところで行う。
- (3) 公式練習は、とくに要求があった時は6分間の合同で行なって良いが、それ以外はトスにおいてサービス権を取ったチームから3分間ずつ行う。なお、公式練習に参加できるのは、ベンチに入ることが許された最大17名の者である。
- (4) 公式練習中に監督のサインしたラインナップシートを提出し、監督とキャプテンは、記録用紙にサインする。キャプテンは試合終了後にもサインすること。
- (5) 試合終了後は、速やかにベンチを次のチームの為に空けること。
- (6) その他、ルールブック等をよく読み、間違いの無いようにすること。

*試合運営に関すること

- (1) 2試合目以降は、前の試合終了後、直ちにトスを行い、全選手がエンドライン上に整列する。但し、アップ会場等の理由により5～10分間の練習時間を取ることもある。この場合、練習できるのは次の試合のチームのみとする。又、ボールの使用は認めるが、隣のコートで試合が進行されている時はとくに注意すること。
- (2) 試合が連続する場合は、最大20分間の休息を取る。
- (3) 完全トーナメント方式において、3位決定戦は準決勝終了30分後にプロトコールを行う。
- (4) 第1試合の補助役員（線審4名・点示2名・記録2名・計8名）については、第3試合のチームより8名又は4名ずつ出すこと。それ以降は、原則として、前の試合の負けチームより8名ずつ出すこと。但し、1～4位・5～8位リーグ（決定戦）においてはこの限りではない。（空きチームより4又は5名ずつ出す）
- (5) 試合ボールについては、各チーム1個開会（始）式終了後本部席に持参すること。

- (6) 試合順序はプログラム及び組合せ表に記載されている通りとする。但し、1～4・5～8位決定リーグ、1～4・5～8位決定戦は、次の通りとする。

1～4位決定リーグ

第1試合	第1シードゾーンの勝者	対	第4シードゾーンの勝者
第2試合	第2シードゾーンの勝者	対	第3シードゾーンの勝者
第3試合	第1シードゾーンの勝者	対	第3シードゾーンの勝者
第4試合	第2シードゾーンの勝者	対	第4シードゾーンの勝者
第5試合	第3シードゾーンの勝者	対	第4シードゾーンの勝者
第6試合	第1シードゾーンの勝者	対	第2シードゾーンの勝者

5～8位決定リーグ

第1試合	第5シードゾーンの勝者	対	第8シードゾーンの勝者
第2試合	第6シードゾーンの勝者	対	第7シードゾーンの勝者
第3試合	第5シードゾーンの勝者	対	第7シードゾーンの勝者
第4試合	第6シードゾーンの勝者	対	第8シードゾーンの勝者
第5試合	第7シードゾーンの勝者	対	第8シードゾーンの勝者
第6試合	第5シードゾーンの勝者	対	第6シードゾーンの勝者

準決勝・決勝 および 5～8位決定戦

第1試合	第1(5)シードゾーンの勝者	対	第4(8)シードゾーンの勝者	
第2試合	第2(6)シードゾーンの勝者	対	第3(7)シードゾーンの勝者	
第3試合	3(7)位決定戦	第1試合の敗者	対	第2試合の敗者
第4試合	決勝(5位決定戦)	第1試合の勝者	対	第2試合の勝者

- (7) リーグ戦(グループ戦)による勝敗が同じ場合は、下記の方法によって順位を決定する。

- ① セット率(全試合の総得セット数を、全試合の総失セット数で除したもの)が高いほど高順位とする。

$$\text{セット率} = \frac{\text{全試合の総得セット数}}{\text{全試合の総失セット数}}$$

- ② 前項の計算によってもなお同順位を生じた場合

ポイント率(全試合の総得点数を全試合の総失点数で除したもの)が高いほど高順位とする。

$$\text{ポイント率} = \frac{\text{全試合の総得点数}}{\text{全試合の総失点数}}$$

5 その他

- (1) 閉会(表彰)式は、最終試合終了後、直ちに行う。
 (2) 会場の片付け・清掃を協力して行う。

———— 組合せ・抽選上の注意 ————

1 組合せ・抽選会に関すること

(1) 次の大会について組合せ、抽選会を実施する。

- ① 県高等学校総合体育大会兼関東大会県予選会
- ② 全国高等学校総合体育大会兼国民体育大会少年の部選考会
- ③ 全日本バレーボール高等学校選手権大会山梨県予選
- ④ 秋山杯兼県高等学校新人大会
- ※ 県高等学校秋季大会

但し、※については専門部常任委員の責任抽選、

①については県高体連学校理事による一括抽選とする。

(2) 試合形式について

* (1) の①・②・③……完全トーナメント形式

★但し、県代表権 2 枠を決める場合はリーグ戦で実施する

* (1) の④は下記の形式（トーナメントは準々決勝まで）

男子……予選グループ戦・トーナメント・リーグ形式

女子……トーナメント・リーグ形式

* (1) の※……予選グループ戦・予選順位別トーナメントもしくはリーグ戦

(3) シード及びシード位置について

直前の大会結果により上位 4 チーム又は 8 チームをシードする。

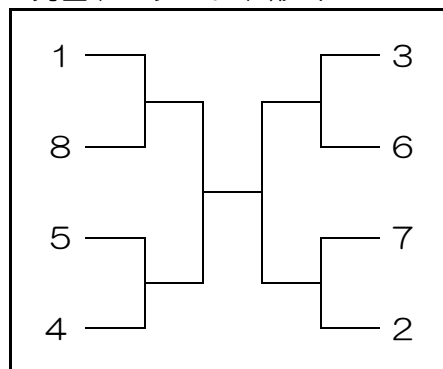
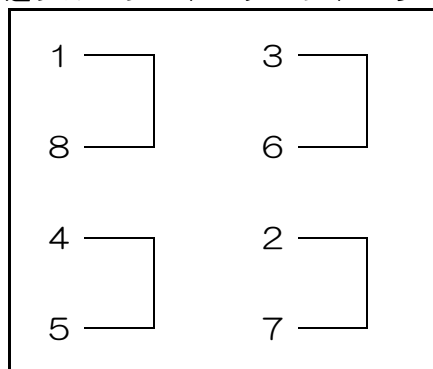
但し、(1) の※県高等学校秋季大会については次大会のシード権はない。

*シード位置については下表の通りとする。

・トーナメント・リーグ形式

・予選グループ・トーナメント・リーグ形式

・完全トーナメント形式



(4) 会場校の特別抽選及び会場割り当てについて

(ア) 2日間使用の会場校については、第8シードゾーンへ、1日使用の会場校については、第7シードゾーンへ入れる。また、1日使用の会場校が2校の場合、第6シードと第7シードゾーンに入れ、この2校による特別抽選を行う。但し、シードチームが会場校の場合はこの限りではない。(本抽選の前に特別抽選を行う)

(イ) 会場割り当てについては、第1シードチームのゾーンをメイン会場又は、2日間使用の会場を割り当てる。その場合、会場を提供し第8シードゾーンに入っていた学校は、第7シードゾーンに入ることとする。

この場合、会場を提供し第7シードゾーンに入っていた学校は、第6シードゾーンに入ることとする。

但し、会場提供校がベスト8のシード校である場合は、順位によるシードを優先するため、第1シード校のゾーンがメイン会場とならない場合もある。

(5) 抽選方法について

(ア) 抽選業務は、競技部及び上位4チームの委員により行う。

(イ) 抽選順序は、抽選により決定する。

(ウ) 抽選方法は、準備された抽選棒をチームの代表者が引く。

「高校総体については、高体連学校理事による一括抽選のためこの限りではない。」

(6) その他

(ア) 申し込み締切ならびに抽選会については、期日時間を厳守すること。

(イ) 大会に参加できる選手は

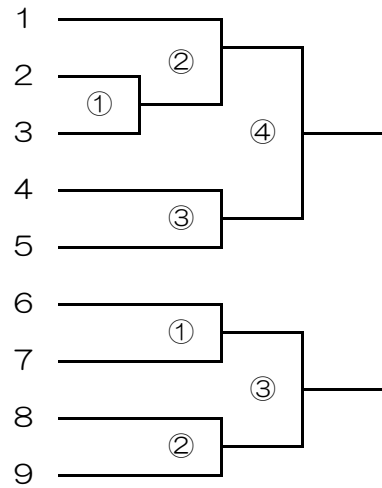
(1) の①・②・③については、JVA-MRSの登録が完了している選手のみ参加可能

(1) の④・※については、JVA-MRSに登録していない選手も参加可能

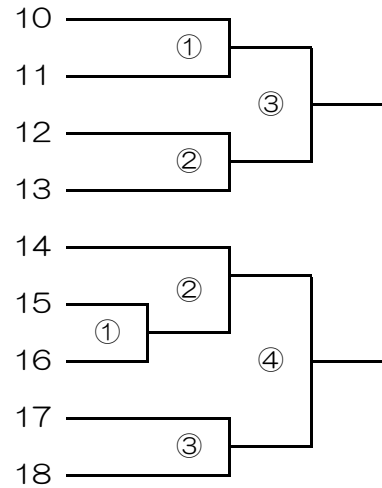
とする。

(7) 参加チーム数による立ち上がり表をNo.6以降に示す。

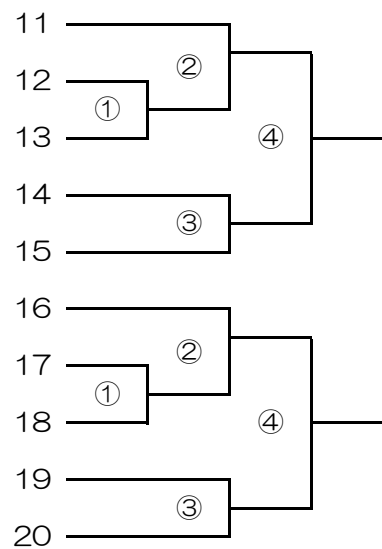
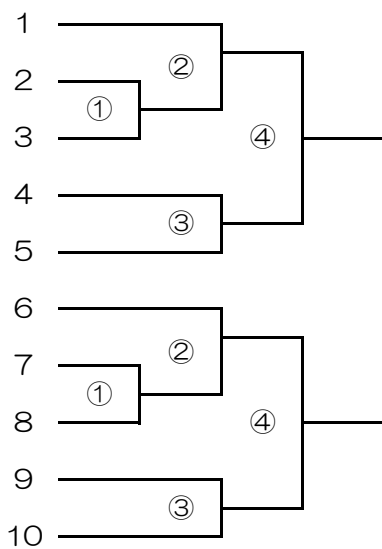
(18チーム)



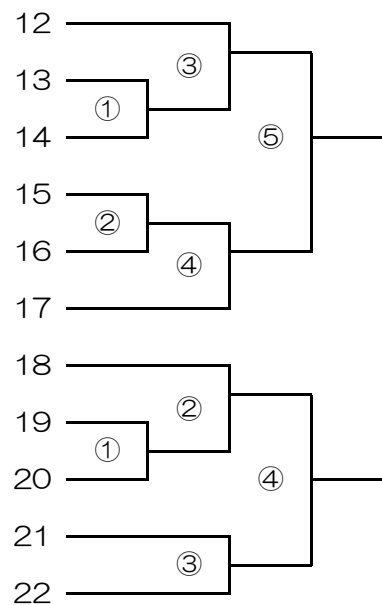
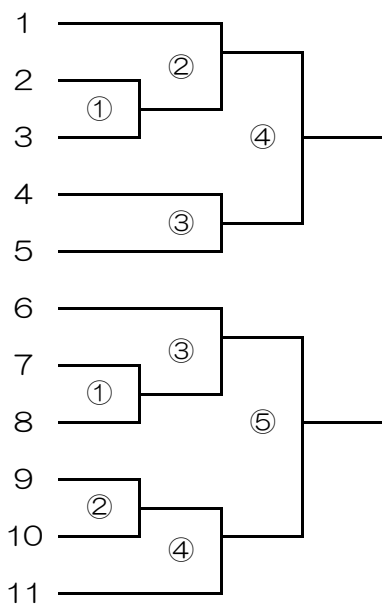
No.6



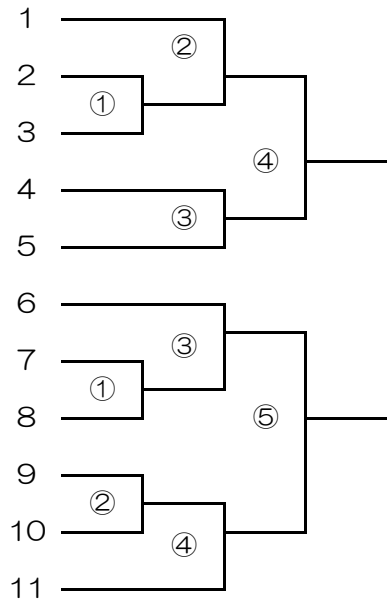
(20チーム)



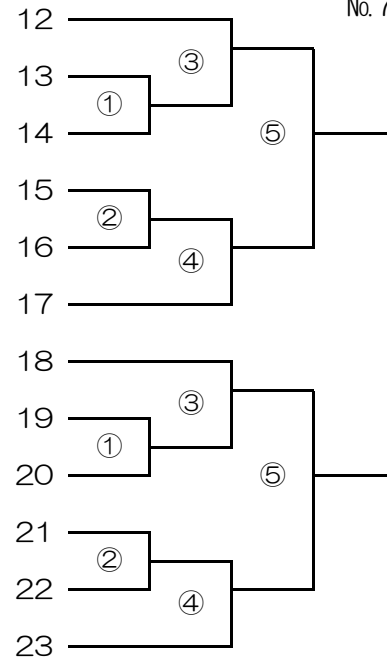
(22チーム)



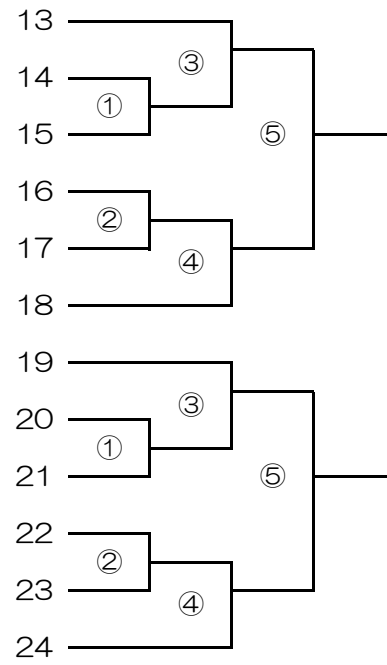
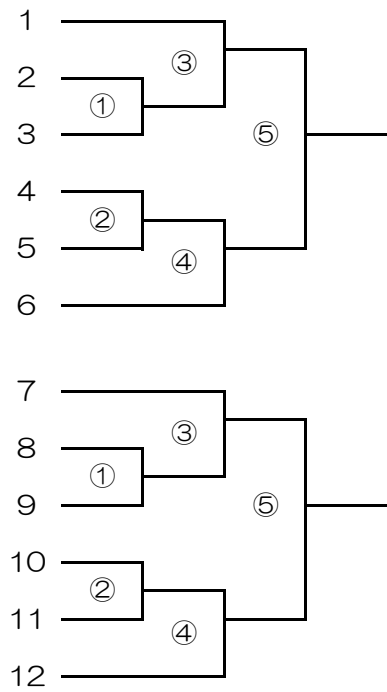
(23チーム)



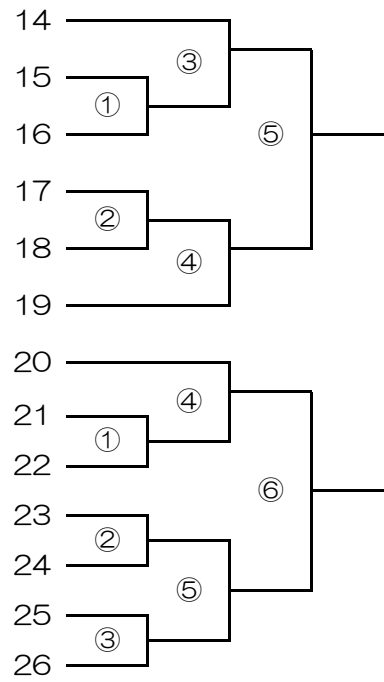
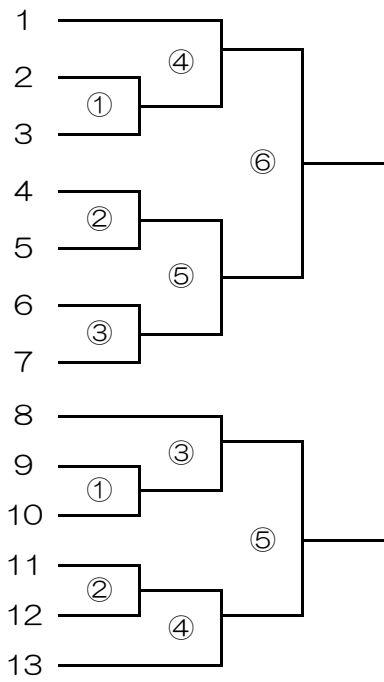
No.7



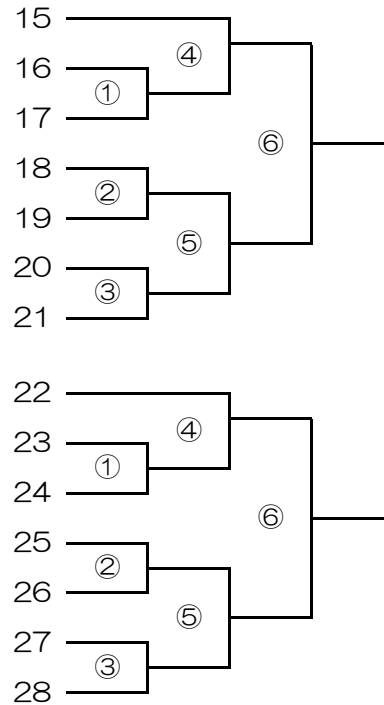
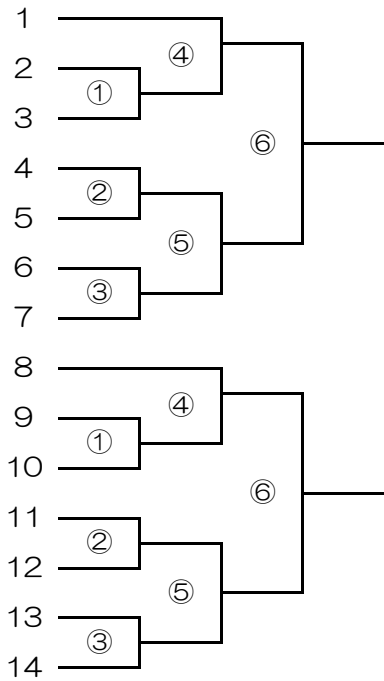
(24チーム)



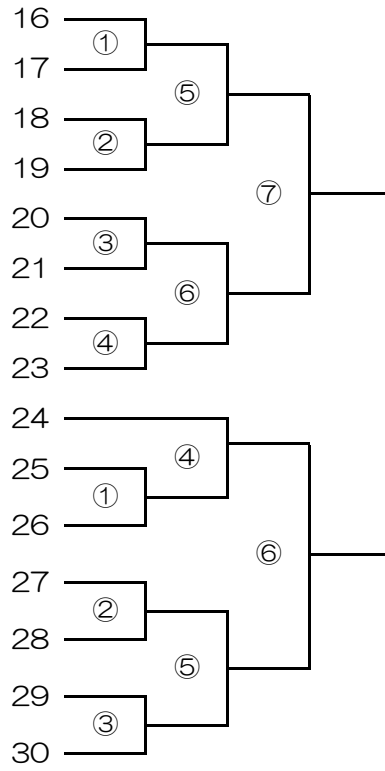
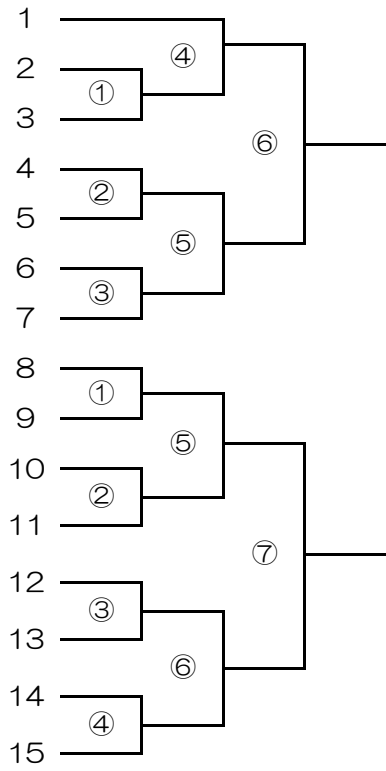
(26チーム)



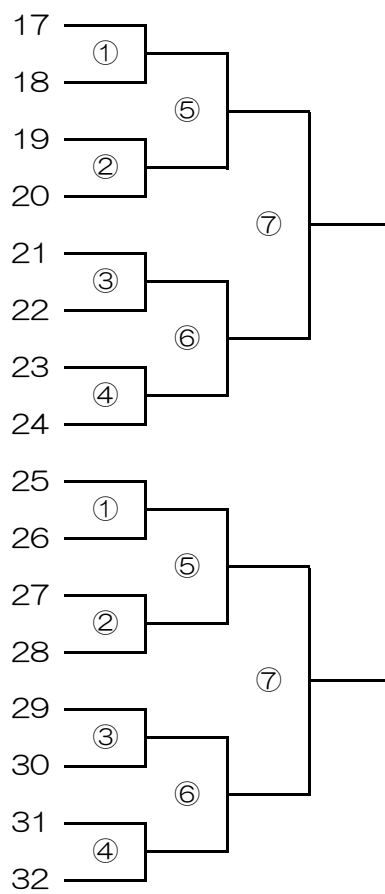
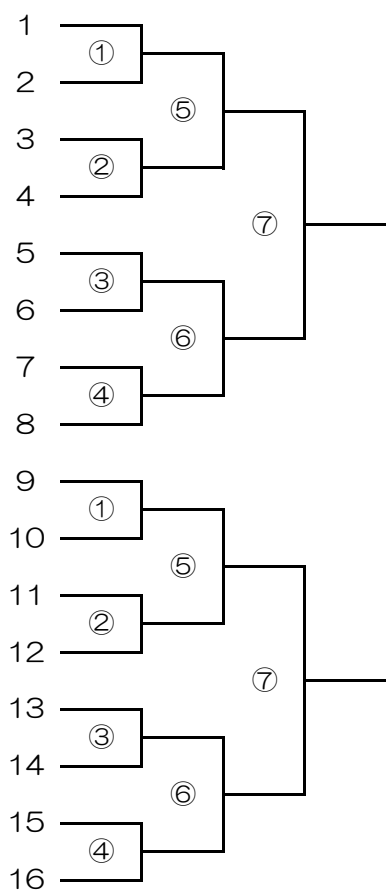
(28チーム)



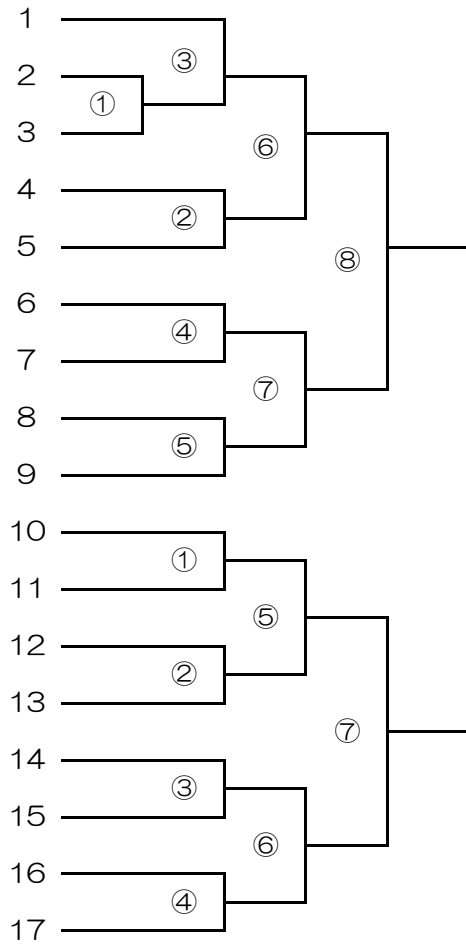
(30チーム)



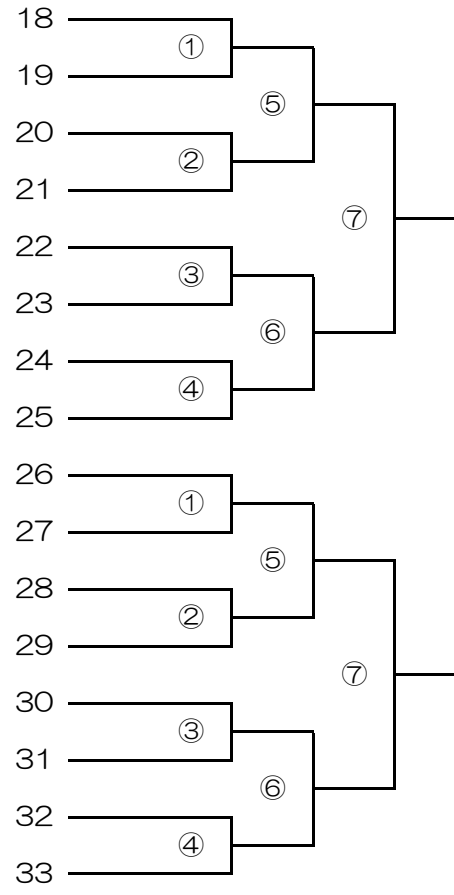
(32チーム)



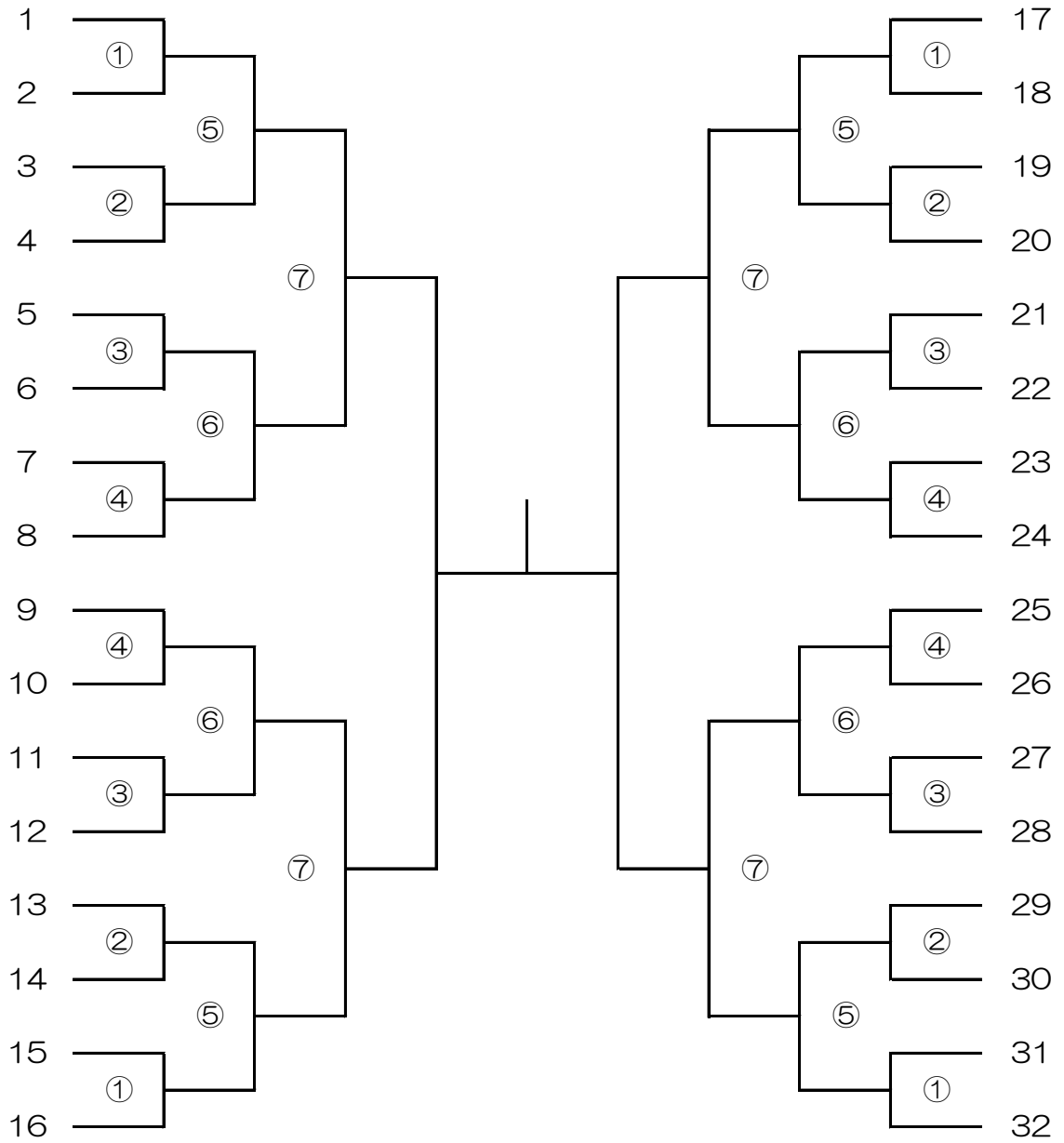
(33チーム)



No.10



完全トーナメント (32チーム)



※男子・予選グループ及びトーナメント方式

予選グループ戦時の連続試合は15分間の休息をとる
 予選グループ戦終了30分後にトーナメント1試合目のプロトコールに入る

4チームゾーンもしくはシードが空位の場合

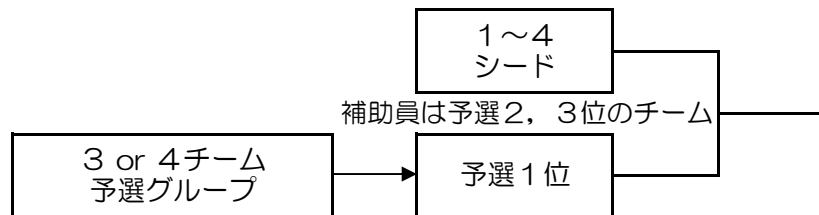
※4チームのパートは5～8位シードが予選グループに入る

この場合、グループの一番若い番号に入る

※5～8位シードが空位のパートも下記の形式となる

※予選グループの補助員は下記のものに準じる

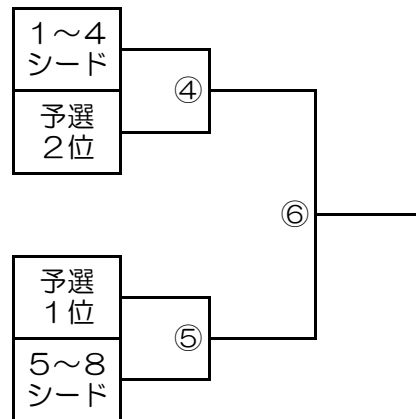
(シード空位の場合、第2試合の補助員はグループ内の試合のないチームが行う)



5チームゾーン

3チーム予選グループ (リーグ)		
	試合	補助員
①	1-2	1~4シード
②	2-3	5~8シード
③	1-3	2

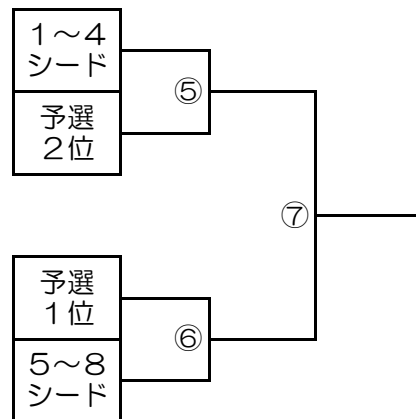
④⑤⑥の補助員	
④は予選3位のチーム	
⑤, ⑥は前の試合の負けチーム	



6チームゾーン

4チーム予選グループ		
	試合	補助員
①	1-2	1~4シード
②	3-4	5~8シード
③	①勝-②敗	④の2チーム
④	②勝-①敗	③の2チーム

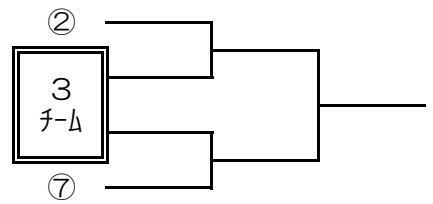
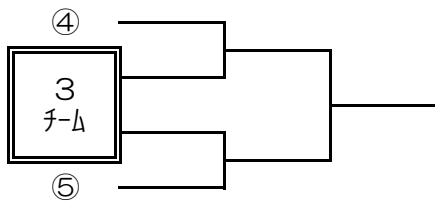
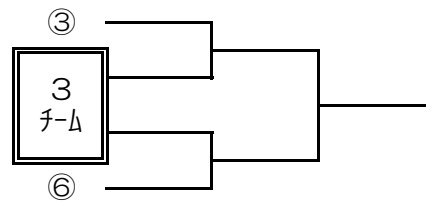
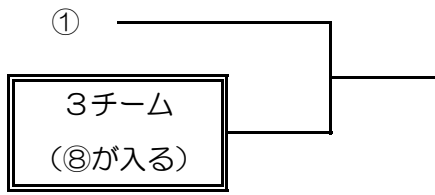
⑤⑥⑦の補助員	
⑤は予選3, 4位のチーム	
⑥, ⑦は前の試合の負けチーム	



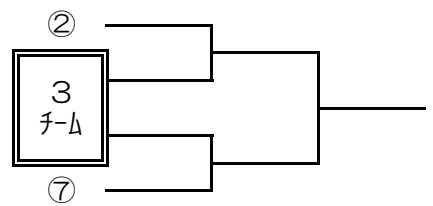
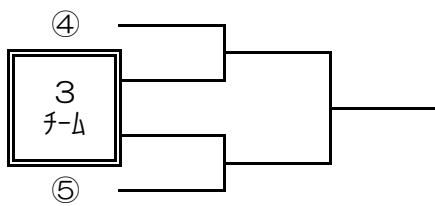
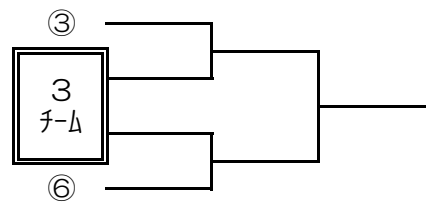
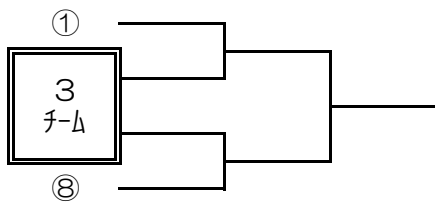
組合せ

※丸数字はシード順

参加校19校の場合



参加校20校の場合



参加校21校の場合

